

福島県三島町
広報

平成28年7月1日発行
(毎月第1金曜日発行)

Public relations
of Mishima-town,
Fukushima in Japan

みしま

2016

7

July

No.280

主な内容

第30回ふるさと会津工人まつり	2
Town Memories	3
町民記者通信	5
地域おこし協力隊特集記事	6
図書コーナー	7
昔話(いぬむかし)	7
町史編さん室だより	8
Information	10

白熱!!
夏季ビーチバレーボール大会

福島県大沼郡三島町 みしままち

三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。



the most beautiful
villages
in Japan



**記念すべき三十回目の開催
二日間で来場者約二万三千人**

町最大のイベント、第三十回ふるさと会津工まつりが六月十一日・十二日の二日間、生活工芸館前で開催されました。初日の朝から夏の太陽が照りつける晴天の中で、県内外からの来場者が続々と訪れ、二日間での来場者は約二万三千人となりました。会場内では、工人たちのこだわりの品々がたくさん並び、奥会津編み組細工」として国の伝統的工芸品に指定されている、山ブドウ・マタタビ・ヒロロなどの編み組細工が人気を集めました。来場者は工人との会話を楽しみながら思い思いに買い物を楽しんでいました。

工人まつりは、昭和六十二年から開催され、当時の出店数は約二十店舗、来場者数は約五百人でした。その後、年々とイベントの規模が大きくなり、今では、出店数が約百八十店舗（うち町内約三十店舗）となり、来場者数は三島町の人口の十倍以上という全国的にみても、とても大きな工芸品のクラフトイベントとなりました。

歴史ある工人まつりも、今年で三十回目の節目を迎え、今年には記念のセレモニー等のイベントが行われました。

第30回 ふるさと会津工まつり



三島町長 矢澤 源成
（ざわ げんせい）

生活工芸村構想への 第一歩を踏み出す

全国から多くの皆さまにお越しいただき誠にありがとうございます。

今、地方創生の流れの中で地方の再認識、都市から地方への回帰が進みつつあり、当町でも地域おこし協力隊や移住者、若い世代が増えつつあります。これは、物質的に豊かになった現代社会において、精神的な豊かさ徐徐に失われ、それを取り戻そうとする人々の動きの表れではないかと感じます。

ふるさと会津工人まつりのテーマは「作る人の手から使う人の手へ」であり、原点は作り手と使い手の会話から生まれる交流で、生活工芸とは、身の回りにある自然の材料を生かし、楽しみながら物を作り、自分で使う、そして、人に使ってもらい、喜んでいただくことです。こうした人と人との交流、自然と人との循環の中から、精神的な豊かさも生まれてくるもの

であり、地方創生とは、物質的な豊かさから心の豊かさの希求を表現していくものであると考えております。

この小さな山村の町で暮らしていくためには、「足元の泉を掘る」。すなわち、地域の資源を見つめ直し、磨き上げていくことがなにより大切であると考えております。

当町では、今年度から山村での暮らしに結びつけていくための生活工芸村構想に着手します。若者と高齢者が共生する持続可能なまちづくりに生かしていきたいと考えております。



三島町議会議員 五十嵐 健二
（いがらし けんじ）

ふるさと会津工人まつりが 作り上げてきた物語

この工人まつりは様々な物語をつくってきました。数年前ふるさと会津工人まつりに高知県から訪れた親子に出会いました。母親は、このふるさと会津工人まつりをインターネットで知り、ぜひ一度訪れたいと思っていましたがなかなか来ることが出来ませんでした。娘さんの東京への就職を機に娘さんがその記念にと母親とこへ訪れました。親子は想像以上に感動され、また訪れたいと言っておりました。本当にありがたいことだと思いました。

このように言っていただけるのは、工人まつりに出品されている工人の皆さま方の匠の技と、それに魅せられてこへ訪れる皆さま方のおかげであると感謝いたします。

これからも、この工人まつりで多くの方に楽しんでもらえるよう町も一生懸命頑張っていく所存でございます。

三島町健康講演会 生活習慣病、予防への挑戦 ～なぜメタボ健診は重要か～

平成28年度三島町健康講演会が町民を対象に三島町町民センターで5月30日に開催されました。健診の制度改革を行い、全国の健康増進に大きく貢献された元・厚生労働省健康局長の矢島鉄也氏を講師にお迎えし、生活習慣病はどう予防するのか、脳血管疾患、心血管疾患のリスクを減らすにはどうすべきなのかを質疑応答を交えながらお話いただきました。



健診を受けることにより・・・

- まず、健診を受けることが健康と幸福の入り口
 - ・健診を受ければ自分の体と解決すべき健康の課題が分かる
 - ・生活習慣病予防・介護予防をすれば、お財布が楽になる（お金がかからない）
- 健診データで自分の健康課題を明確にする
 - ・自分が健康かどうかは自覚症状等ではわからないため、健診データで明確にする
- 保健師・栄養士が最新の科学的根拠で保健指導
 - ・医学的メカニズムを基に体の中でおこっていることと栄養の関係を保健指導によって知る
- 一人ひとりの地道な取り組みが、結果を出す
 - ・生活を改善し、健診の数値を改善し（正常範囲でも）健康と幸福を維持する

白熱！平成28年度 夏季ビーチバレーボール大会

公民館・教育委員会が主催する平成28年度夏季ビーチバレーボール大会が6月22日・23日の2日間で行われ、年齢制限のある1部（5チーム）と制限のない2部（6チーム）がそれぞれ白熱した試合をみせました。

今回の優勝チームは1部：オール桑原チーム、2部：安全第一チームでした。次回は、秋の開催の予定です。ぜひ、大勢のご参加・応援をお待ちしております。



▲ 1部優勝：オール桑原チーム



▲ 2部優勝：安全第一チーム



てわっさの里まつり

てわっさの里まつりで賑わった宮下地区内

工人まつりと同時に、てわっさの里まつりが宮下地区内で開催されました。年々出展者が増え、今年は79店舗（うち町内32店舗）が出展し、来場者は約5,000人となりました。

2日間限定で歩行者天国となった宮下地区内は大勢の来場者で賑わい、活気に満ちていました。



山と木の市場 魅力ある催しで賑わう
工人まつりと同時に、「山と木の市場」が開催され、模擬店や桐製品をはじめとする木工用品等の展示販売などが行われました。
今年度は、会津若松市にある福島県内初の『木育』をコンセプトとした木育広場『もくれん』の木のおもちゃまつりが開かれ、子ども達は木でできたたくさんのおもちゃに触れ、親子で楽しい時間を過ごしていました。

山と木の市場



大石田運動会

文・写真 中兵一朗さん（大石田）
六月五日、元大石田分校の校庭において運動会が盛大に行われました。約八十名の参加があり、開会式、ラジオ体操、競技種目は、借り物競走やカード合わせ、紅白玉入れ、宝拾いなどあまり運動量の激しくない種目が主なものでした。地区の人たちは日ごろの運動不足からラジオ体操で体の節々が痛いなどと言っていました。団体競技の組対抗の優勝は五十嵐敏さんが組長の一組・八組の連合組でした。半日、地区民楽しく和氣あいあいと過ごしました。



楽しく和やかな
西方健康守る会運動会

文・写真 本名与四郎さん（西方）
「第十九回西方健康守る会の運動会」が六月五日に生涯学習センターカタクリ体育館で行われました。
西方の住民が約百名ほど若男女を問わず一堂に会し、開会式を行いました。代表して、健康を守る会の会長が今年のテーマを発表しました。三つのめあてとして「ほのぼのと」「みんな楽しく」「なごやかに」を画用紙に書き、住民の前に提示しました。
ラジオ体操を皮切りに一組から十四組までの隣組が紅組と白組に別れて様々な競技に多くの住民が参加しました。最後の種目として、住民全員が輪になって「豊年踊り」が行われました。笑いを誘ったり声援を受けたりしながら和やかな雰囲気の中、趣向を凝らした運動会が盛会裏に終了しました。



▲住民が一体となった「豊年踊り」

会津西方駅前広場の整備作業

文・写真 五十嵐公男さん（名人）
名人地区では、「ふるさと会津人まつり」と、六月十八日に行われた名人子供会主催の「虫送り」のイベントが二週続けて行われました。それに伴い会津西方駅や、駅前広場に降り立つ人が、徐々にではありますが増えてきております。この小さな無人駅を利用する方々が、少しでも気持ちよく利用できるようにと名人地区有志が集まり、六月九日（木）に会津西方駅前広場の草刈り・花壇・桜の木の整備を行いました。
〈上人まつりの当日〉非常に暑い中、諏訪ノ上の会場から宮下地区の「てわっさの里まつり」会場までバス等を利用しないで、徒歩で散策しながら向かう人たちが、桜の木の下で涼をとっているのが見受けられました。せめてベンチでも有ればと思った次第です。



水無月になくはならない
「虫送り」

文・写真 本名与四郎さん（西方）
六月十一日に西方地区伝統である「虫送り」が行われ、朝八時三十分より中学生や保護者、地区役員の方の協力の下、竹を切って運ぶグループと山車の周りに使う桑の木など雑木を切って持ち寄るグループに分かれて活動を開始しました。正午近くまで時間を費やして、竹の枝につり下げたり、幼児などに持たせる「提灯」、道案内を行うための「松明」、山車の飾り付けなど完成させました。
空が夕焼けに染まる午後七時三十分から西方の郷倉をスタートして街を練り歩きました。西方地区の幼児、小学生、中学生だけでなく近郷近在の子どもたちも参加しました。一ヶ月以上かけて仕上げた手作りの提灯を手になきなかけ声が星空の光り輝く天空に響き渡りました。



▲提灯のほのかな明るさが暗闇を照らす

三島小三・四年生キマダラル
リツバメの観察学習

文・写真 角田伊一さん（川井）
六月十六日、三島小三・四年生が、総合学習の時間を利用して三島町の天然記念物キマダラルリツバメの生態観察学習を行いました。川井の生息地に到着すると同時に、小学生の皆さんを待ち構えていたかのように可憐な姿を見せてくれました。初めて目にするチョウの姿を早速写生したり、追い掛けっこなどをしていました。
このチョウが日本中で一番の人気者で、三島町を中心に生息し、今では他の県ではほぼ絶滅して見られなくなったなどの説明を興味深く聞いたあと、天然記念物の大切さに理解を示し、町民みんなで保護しなければならぬことをあらためて学習出来たようです。わずか一時間の授業時間でしたが、楽しく、大変意義ある観察会になりました。



平成二十八年 福一満虚空
蔵尊の整備について

文・写真 中兵一朗さん（大石田）
六月十八日・十九日の両日、福一満虚空蔵尊の階段周辺の整備が行われました。今年は芝桜の植栽と刈り払いです。十八日は刈り払いと芝桜の植つけ準備で主に男性の担当です。
十九日は芝桜の植えつけでした。主に女性の担当です。階段の両脇に防草シートを張り付け芝桜の保護を行っていますので、順調に育つのではないかと思います。
昨年は大山桜をたくさん植えています。今年は芝桜です。で年々きれいになっていきます。来春は芝桜と大山桜の一部が開花するのではと今から楽しみにしています。



水路をきれいに

文・写真 小島純さん（宮下）
六月十九日、宮下・荒屋敷・桑原地区両委員会の委員約十名で倉掛沢の水路の土砂上げ作業を行いました。倉掛沢から桑原・荒屋敷・宮下方面に流れる水路の土砂を年に一回、排出するもので両委員達は、水路樹二か所に降りて土砂をかき上げたり、道路脇の水路の土砂上げに汗を流しました。



地域おこし
協力隊
特集記事

地域おこし協力隊に聞いてみた！
第1回目
生活工芸館 清水 夏穂さん
(なっちゃん)



Q1

地域おこし協力隊になった

きっかけってなんですか？

喜多方でお仕事をしていた際に、工芸館の臨時木工指導員として土日だけ三島に通わせてもらっており、そこでモノづくりに特化した協力隊の話をいただいたので応募しました。
前職はモノづくりとは少し離れた分野でしたので上司ともしっかり相談して協力隊への応募を決めました。

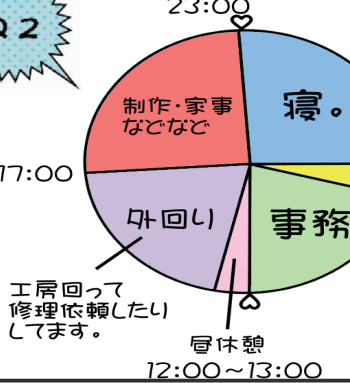
PickUP!
工人まつりの看板づくり



「子どもたちが作ってくれたんですか！？」と嬉しい反応もあったので、本当にやうてよかったなと思います。協力してくださったみなさん、ありがとうございました！

過去に、ほぼ一人で何十枚もの看板を描いていたこともあるのですが、館長や町の工人さんから「看板はおもてなしの心。町外からやってくる工人さんたちのために、主催者側で作っていた」とお話を伺い、おもてなしの心を伝えるために何かできないかと考えていました。そこで関係者の方と相談して、今回の看板作りワークショップを開かせていただきました。
大変な点もありましたが、一緒に楽しく作業できましたし、出店者の方から

なっちゃんの一
日を知ろう！



7:00~8:30 起床&出勤
朝はモタモタ。朝は弱めです。ギリギリに起きることも...
12:00~13:00 昼休憩
工房回って修理依頼したいしてます。

Q2

「みさかDEあそぼ！～本気で図工～」

週末を美坂高原で楽しく過ごすイベントを企画中です！今回はプレイベントとして、木工ワークショップを開催します。興味のある方はぜひご参加ください。
○日時 7月24日（日）9時～13時
○場所 美坂高原
○内容 本棚の組み立て等の木工ワークショップ
※お申込み方法、当日必要なものなど詳しくは7月1日発行のお知らせ版をご確認ください。（三島町 HP でもお知らせ版を閲覧することができます。）

町民センターゆめぽけっと
図書コーナー

【今月のおすすめ】

『コーヒーが冷めないうちに』
著者：川口俊和



とある街の、とある喫茶店の、とある座席には不思議な都市伝説があった。その席に座ると望んだとおりの時間に戻れるという。ただし、そこにはめんどくさいルールがあった。それでも過去に戻って起きた心温まる奇跡とは……。

【新刊図書の紹介】

題名	著者
どうぶつれつしゃ くれよんのくろよん	しのだ こうへい
羊と綱の森	なかや みわ
夢幻花	宮下 奈都
名君 保科正之	東野 圭吾
奥右筆外伝前夜	中村 彰彦
	上田 秀人

その他たくさんのお本を用意しております。

- 利用時間
⑨～⑫ 午前9時～午後9時
⑩・祝日 午前9時～午後5時
- お休み
年末年始
- 問 公民館 ☎ (48) 5599

民話



第63話

いぬむかし

遠い遠いむがしのこどなな。

じいさんとばあさんと利口な犬がいだつけど。いつもどこさ行くにも、利口な犬は、じいさんとばあさんの後先になってコロコロコロコロめごがったどお。

さて、ある日のごと。

「ワン、ワン。クーンツ、ワン」せわしくほえる。

「なんだあコロ、何が居んのがあ？」

「クーン、クーン、ワン、ワン」鼻おっつげで尻尾ふつて。

「よしよし、うなつてみるつてがあ？」じいさん、チャッカチャッカうなつてみだら

「やあれ、やれ。大判じゃ、小判じゃ」ザックザック出だどお。

コロも喜ぶ、じいさんばあさんもよろこんでだら、となりの欲ばりじいさんグイグイやつてきて

「借っちえぐぞー」コロんどごグイグイひっぱつて泣がせだど

「なんだあ、こうだきつたねえものゝ、このやろうめつ」パッカーン、かつくらずげらつちえコロツと死んだどお。

「おーおーおー」じいさんとばあさん 泣き泣きコロのお墓こしやつただどお。

したらば、墓がら松ノ木はえできて、グングンずなぐなつて

「いやあゝ、コロの木、ずなぐなつたあ」じいさん言うどばあさん

「じいさん、この木で白こしやつて餅つぐべえよ」

「なあやれ、餅ついでコロさ食せべえ」早速、こしやつて餅ついたどなあ。したらば、ヤイヤイヤイヤイ

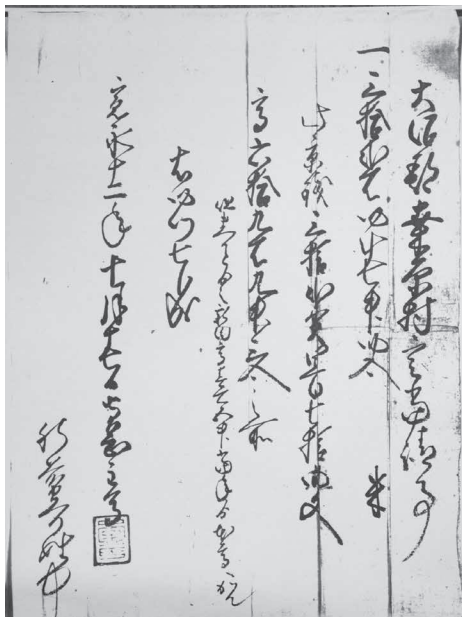
町史編さん室だより

第6回

もし、ご家庭に古い文書などがございましたら、交流センター山びこまでご一報ください。
☎(52) 2165

貴重な近世初期の年貢割付状

「大沼郡桑原村定当請けの事」



河越卿家文書（福島県歴史資料館収蔵）

江戸時代は將軍・領主を頂点とした封建制度の時代でした。領民である百姓は土田畑を耕し、その生産力のほぼ半分に相当する米・金を年貢（物成）として納める義務を負っていました。

年貢をいくら納めるかを書状にしたためた、今でいう納税通知書のようなものを年貢割付状といひ、郡代などから肝煎（名主）宛てに届けられました。

今回紹介する古文書は「大沼郡桑原村定当請けの事」として、寛永十二（一六三三）年、加藤明成公の時代に、その家臣である守岡主馬が発信したものです。桑原村と大谷村の肝煎の家には、このような近世初期のものが数通残されており、会津でも同時代のものは多くなく、大変貴重なものです。

桑原の河越卿家には、寛永十（一六三二）年から幕末の文久二（一八六二）年までの約二百三十年間にわたり二百通以上の年貢割付状が保存され、江戸時代の年貢制度やその変遷を研究する上で非常に役立っています。

「やあれ、やれ。大判じゃ、小判じゃ」ザックザック白がら出だどお。

「コロやれ、ありがど、ありがど」つってだら、となりの欲ばりじいさんグイラショーッ

「かつちえぐぞつ」持つてつて、餅つきしたど。したらば

「うつ、なんだあ、こうだきつたねえものゝ」怒つた欲ばりじいさん、パッカラショーつうどわつちまつた。

「おーおーおー」じいさんとばあさん、泣き泣き松ノ木の根元で燃やしてやつたどお。気持ちの優しいじいさんとはあさん

「コロよゝごめんよゝ。ほくら天国さ行げよゝ」つてなあ。

したつてが、風がプーッちゃせだつてがなあ、風に灰汁がとんで、チリリーーン、チリリーーン、枯れ木さ花さいだどお

「おゝや、おや。コロやれ、どごまでもおまえは良いやつだなあ」

じいさん、ばあさんは、灰汁をたがって、あっちこっちの枯れ木さまいであるいだどお。

「チリリン、ポリン、小金の花ゝ。チリリン、ポリン、小金の花ゝ」

やれ見事に桜が咲いて見事だったどお。

「おお、見事みごとじゃ」それを見た殿様にごほうびまでもらつて、やさしいじいさんとばあさんとコロのおかし・・・ざつとむかしがさげだ。

元話 滝原の某氏（滝原）
再話 五十嵐七重さん（西方）

大沼郡桑原村定当請けの事
一 三拾貳石四斗七升二合 米

此の京銭 参拾貳貫四百七拾四文
高六拾九石九升三合の所

但しまえかどよりの新田高巻石

五升 当年より本高へ加え候
右四ツ七分

寛永十二年十月十七日

守岡主馬判
肝煎百姓中

※原文には送り仮名はなく、これは読み下したものです。

※京銭 当時、中国でつくられた質の悪い銭（国内での私鑄説もあり）が日本で流通しており、その一つとして京銭がありました。初期の江戸幕府では、一両を質の悪い京銭では四貫文（四〇〇〇文）、質の良い永樂銭では一貫文（一〇〇〇文）に相当すると定めていました。

文・読み下し 角田 伊一

社会福祉協議会より

ご寄附
ありがとうございました

町社会福祉協議会へのご寄附
(ご遺志によるもの)

西 郷 幸 江 様 (間 方)

舟 木 健 一 様 (間 方)

地域ふれあいサロン

弁護士相談

7月15日(金) 10:00~15:00
福寿草

サロンないり・滝谷和楽塾合同遠足

7月20日(水)
会津若松市

ひまわりサロン遠足

7月25日(月)
会津若松市

☎ 社会福祉協議会 ☎ (52) 3344

7月の納税

納期限 8 月 1 日

▶固定資産税 (第2期)

▶国民健康保険税 (第2期)

▶介護保険料 (普通徴収) (第2期)

忘れずに納付ください。
役場 町民課

町の人口と世帯

6月1日現在

人口	1,742	増減数	-7	出生	1
男	839	増減数	-6	死亡	6
女	903	増減数	-1	転入	0
世帯	786	増減数	-2	転出	2

③住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

個人事業税の納税をお忘れなく！

個人事業税は、県内に事務所・事業所を設けて、物品販売業や不動産貸付業など、一定の事業を営んでいる方に納めていただく県の税金です。

会津地方振興局県税部から送付される納税通知書により、年税額を8月(第1期分)と11月(第2期分)の2回に分けて納めることになっています。

ただし、年税額が1万円以下の場合には、8月(第1期分)に一括して納めることになります。

☎ 福島県会津地方振興局県税部 課税第1課 事業税チーム ☎ 0242 (29) 5254

お勧めします！
個人事業税の口座振替納税

個人事業税については、便利な口座振替の制度があります。手続きは、納税通知書に同封の預金口座振替依頼書を金融機関に提出し、金融機関で確認を受けた納付書送付依頼書を県税部に提出して行います。

なお、詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

☎ 福島県会津地方振興局県税部 課税第1課 事業税チーム ☎ 0242 (27) 4311(代表)

届けよう そのやさしさを 献血で

7月は「愛の献血助け合い運動」月間です。いつでも患者さんに血液をお届けできるよう、定期的な献血のご協力をお願いいたします。

☎ 役場 町民課 ☎ (48) 5565

極上の会津 夏キャンペーン
「会津手塚治虫キャラクタースタンプラリー」を開催！

平成28年7月1日～8月31日まで「極上の会津 夏キャンペーン」にあわせ、会津地方の17市町村を巡る「会津手塚治虫キャラクタースタンプラリー」が開催されます。スタンプを集めて応募すれば、総額100万円の豪華賞品が当たります。皆様ぜひご参加ください！

☎ 地域政策課地域政策係 ☎ (48) 5533
事務局：極上の会津プロジェクト協議会(会津若松市観光課) ☎ 0242(39)1251

「確かな未来」が会社を変える。

中退共
CHU-TAI-KYO
で退職金。

「中退共」は中小企業が加入しやすい国の退職金制度です。

① 国の制度だから安全・安心！
さらに掛金の一部を国が助成します。

② 社外積立でラクラク管理！
管理や運用の手間がかかりません。

③ 掛金は全額非課税でオトク！
節税に加え、手数料もかかりません。

●パートタイマーさんもご加入いただけます。
●他の退職金・企業年金制度等とのポートビリティも可能です。

詳しくは
ホームページをご覧ください

中退共 検索

http://chutai-kyo.taisyokukin.go.jp/

独立行政法人勤労者退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部 TEL(03)6907-1234 FAX(03)5955-8211

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町での刑法犯
(6月1日現在)

1件

なりすまし詐欺の
被害が発生！

▼融資詐欺が発生！

◎融資被害

男性が経営する会社に融資案内のファックスが入ったことから、ファックスで申込書を送付したところ、相手から「保証金を振り込めば500万円融資できます。」などと電話で言われ、この話を信じた男性が、町内の金融機関から指定された口座に入金したものの、

▼なりすまし詐欺
被害防止に向けて

◎ファックス・メールなどによる融資の勧誘

◎保証金を要求するもの

これらは、なりすまし詐欺やヤミ金です。なりすまし詐欺の被害者は、高齢者に限らず幅広い年代に渡っています。還付金詐欺の被害も増えていますので、従業員及びそのご家族に、被害防止のための積極的な声かけをお願いします。

絶対に申込書を送付したりせず、家族や警察に相談してください。

街頭犯罪発生件数(5月中)

区 分	管 内	三島町
強 盗		
空き巣ねらい	2	
忍 び 込 み	1	
事務所荒らし		
出 店 荒 ら し	1	
自 動 車 盗	1	
オートバイ盗		
自 転 車 盗	6	
自販機ねらい		
車 上 ね ら い	4	
ひ っ た く り		
部 品 ね ら い		
強制わいせつ		
街 頭 犯 罪 合 計	15	0
全 刑 法 犯	54	1

※全刑法犯には街頭犯罪以外(器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など)の犯罪発生件数が含まれます。

※上記発生件数は、平成28年1月1日からの累計数となっています。

防犯功労者 青木美枝子さん(荒屋敷)が受賞

平成28年度会津坂下地区防犯協会連合会定期総会が6月23日に行われ、席上、青木美枝子さん(荒屋敷)が防犯功労者として、会長の齋藤文英会津坂下町長及び山本裕孝会津坂下警察署長より表彰されました。

これは、長年地域安全活動を推進し、安全なまちづくりに貢献するとともに積極的に警察活動に協力された功労を讃えられたものです。今後、益々のご活躍をお願いするものです。



▲表彰状を手にする青木美枝子さん(荒屋敷)

制度改正後初！出産祝い金・結婚祝い金贈呈

6月17日に町長室で布川加菜さん(宮下)と佐久間裕美さん(中平)に出産祝い金を、6月29日に星保弘・ルミ子夫妻に結婚祝い金を贈呈しました。

若者定住促進を目的とした祝い金の額が増額改定されてから、初の対象者となります。少子高齢化が進む中、大変喜ばしいことであり、皆さんのご活躍を願います。



▲町長より出産祝い金を授与された布川孝宏さん(宮下)

犯罪や非行のない社会を目指して

― 社会を明るくする運動 7月は強調月間です ―

今年で66年目を迎える「社会を明るくする運動」は、すべての国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生についての理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

それに伴い、児童・生徒を中心に町内へ広く呼びかけるため、保護司会・更生保護女性会の皆さんによる「しおり」作りが、5月18日に行われました。「しおり」には昨年度募集して入選した小・中学生の標語と季節の押し花が添えられています。今回作られた「しおり」は町内パレード時に小・中学生に配布します。

安全・安心な町づくりと青少年の健全育成のために、町民の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。



◆社会を明るくする運動強調月間の活動予定

○町内パレード 実施日：7月8日(金)

各地区を回りますので温かいお言葉がけをお願いいたします。

○みしまテレビ広報番組

①「心のリレー」7月1日(金)から7月15日(金)の間、午後2時から放送します。

②「更生保護」7月16日(土)から7月31日(日)の間、午後2時から放送します。

広報番組をご覧になり、社会を明るくする運動へのご理解、ご協力をお願いいたします。

☎ 「社会を明るくする運動」三島町推進委員会 ☎ (48)5565

◆栄養士のつぶやき◆



管理栄養士 小野千恵

～減塩チェックしてみましょう！！～

高血圧の予防には「減塩」が必要ですが、自分が「塩分を摂り過ぎ？」かどうかわからない方も多いと思います。そこで、下記の「塩分チェック表」を活用して、塩分摂取量の傾向を確認してみましょう。

【塩分チェック表】

- ①味噌汁は毎日2杯以上飲む
- ②梅干し、漬物は毎日かかさず食べる
- ③あじの干物や塩鮭などの味付け魚をよく食べる
- ④さつま揚げやちくわなどのねり製品をよく食べる
- ⑤ハムやソーセージをよく食べる
- ⑥1日1回はうどんやラーメンなどの麺類を食べる
- ⑦麺の汁は残さず全部飲む
- ⑧おかずには必ずしょう油をかける
- ⑨昼食はいつも外食やコンビニ弁当
- ⑩食事の量は人より多い

①～⑩で8割あてはまる方は塩分を多く、全てあてはまる方は、かなり多く摂取しています。毎日の調理や食卓で、薄味や減塩に少しずつ慣れ、減塩を実践していきましょう。



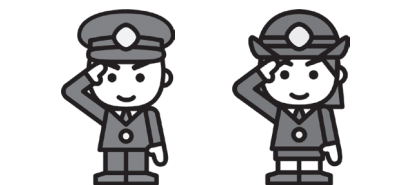
問 福島県立宮下病院
☎ 0241(52)2321

広域市町村圏整備組合

— 事務局職員（技術職）の募集 —

平成29年4月採用予定の職員を募集します。

1. 採用職種及び採用予定人数
技術職（建築）：1名程度
2. 受験資格
技術職：高校卒業程度の学力を有する方で、昭和56年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
3. 試験申込書の請求
会津若松地方広域市町村圏整備組合事務局・消防本部・消防署・分署・出張所・市町村役場で交付します。整備組合のホームページ (<http://www.aizu-kouiki.jp>) から受験案内・試験申込書をダウンロードすることができます。
4. 郵送を希望する場合
封筒の表に「採用試験用紙請求」と朱書きし、あて先を明記して120円分の切手を貼った返信用封筒（A4判大）を同封し、会津若松地方広域市町村圏整備組合事務局総務課総務係（〒965-0037）会津若松市中央三丁目10-12へ郵送請求してください。
5. 受付期間
平成28年7月13日㊥～平成28年8月12日㊦まで（執務時間中に限ります。執務時間8時30分から17時15分まで）ただし、㊥㊦祝日は除きます。郵便による申込書提出の場合は、平成28年8月10日㊥の消印があるものまで受付けます。
6. 第1次試験
と き 平成28年9月18日㊧
ところ 会津大学
内 容 教養試験及び専門試験



問 会津若松地方広域市町村圏整備組合事務局総務課総務係
☎ 0242-24-6311

広域市町村圏整備組合

— 消防職員の募集 —

来年採用予定の消防職員を募集します。

1. 採用職種及び採用予定人数

試験職種	消防職員
採用予定人員	3名程度
職務内容	消防署等において、予防、予防、救急等の業務に従事します。男女とも原則として深夜業を含む交替制勤務です。（6ヵ月間の消防学校研修後、各所属に配属されます。）
2. 受験資格
技術職：高校卒業程度の学力を有する方で、平成元年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者。身体の基準は、身体強健な者とする。
3. 試験申込書の請求
消防本部・消防署・分署・出張所・市町村役場で交付します。なお、消防本部 (<http://www.119-aizu.jp>) のホームページから受験案内・試験申込書をダウンロードすることができます。
4. 郵送を希望する場合
封筒の表に「採用試験用紙請求」と朱書きし、120円分の切手を貼った宛先明記の返信用封筒（A4判大）を必ず同封して、会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部総務課（〒965-0131 会津若松市北会津町中荒井字諏訪前11）へ送付してください。
5. 受付期間
平成28年7月13日㊥～平成28年8月12日㊦まで（執務時間中に限ります。執務時間8時30分から17時15分まで）ただし、㊥㊦祝日は除きます。郵便による申込書提出の場合は、平成28年8月10日㊥の消印があるものまで受付けます。
6. 第1次試験
と き 平成28年9月18日㊧
ところ 教養試験：会津大学
体力試験：会津大学体育館

問 会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部総務課総務グループ
☎ 0242-59-1400

～消防署からのお知らせ～

〈熱中症に注意しましょう〉

○熱中症の応急処置

1. 涼しい場所へ移動し、衣服を緩め安静に寝かせる。
2. エアコンや扇風機などをつけ、からだを冷やす。
3. 脇の下、太ももの付け根を冷やす。
4. 飲めるようであれば水分を少しずつ頻回に取らせる。

〈熱中症は予防が大切です〉

○熱中症の予防策

1. こまめに水分（スポーツドリンクなど）を取りましょう。
2. 日中の暑い時間帯に外出するのを控えましょう。
3. 室内ではエアコンや扇風機を活用しましょう。
4. 屋外では帽子をかぶり直射日光を避けましょう。

※熱中症予防は個人での予防が大切ですが、周囲の人への気配りも予防につながります。

熱中症は予防ができる病気です。暑い夏を元気に過ごすため、熱中症のことをよく知り、しっかり予防しましょう。心臓や肝臓、その他持病をお持ちの方は、夏の過ごし方についてかかりつけの医師に相談し、上手にコントロールしましょう。もし、熱中症の疑いがある場合には、すぐに119番へ通報してください。

問 会津坂下消防署三島出張所 ☎ (52)3032



自衛官採用試験

採用種目	資 格		受付期間	試験期日	試験会場	合格発表
航空学生	高卒（見込含） 21歳未満の者（男女）		7月1日 ～ 9月8日	1次 9月22日	郡山労働福祉会館	10月7日
				2次 10月15日～10月20日のいずれか1日	1次合格時にお知らせいたします。	（海）11月9日 （空）11月4日
				3次 11月12日～12月15日のいずれか1日	2次合格時にお知らせいたします。	平成29年1月23日
一般曹候補生	18歳以上 27歳未満の者（男女）		7月1日 ～ 9月8日	1次 9月16日・17日	会津大学	1次 9月30日 最終 11月11日
				2次 10月6日～10月12日のいずれか1日	郡山駐屯地	
自衛官候補生	男子	18歳以上 27歳未満の者	年間を通じて行っています。	受付時にお知らせいたします。	会津大学	合格発表日は試験日にお知らせいたします。
自衛官候補生	女子		7月1日 ～ 9月8日	2次 9月27日 9月24日	郡山駐屯地 郡山駐屯地	

詳しくは下記までお問い合わせください。

問 自衛隊 福島地方協力本部 会津若松出張所
会津若松市門田町大字黒岩字大坪 57-1 ☎ 0242 (27) 6724



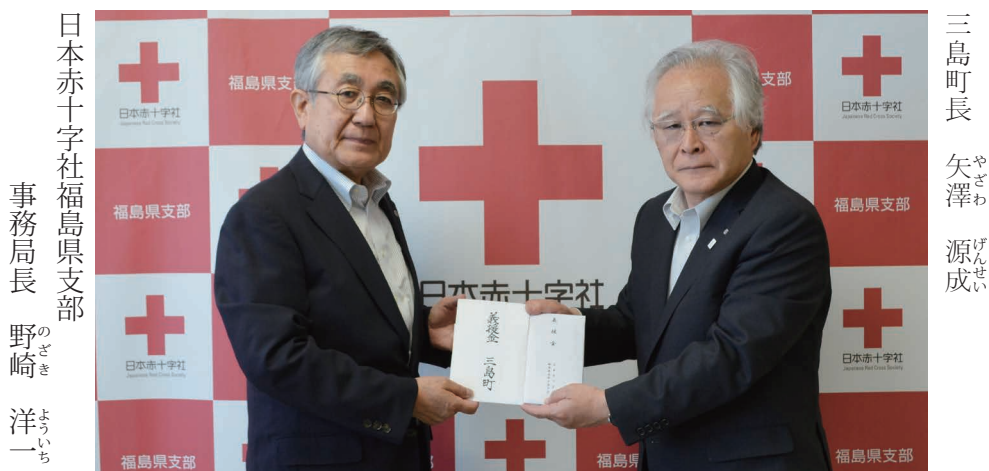
町民の願い、被災地へ届け。

熊本地震被災者への支援

4月に発生した熊本地震の被災者に対し、町民の皆様から日本赤十字社福島県支部三島町区分を通じ集まった義援金は、町からの義援金と救援物資とともに被災地に届けられました。

救援物資は4月に日本で最も美しい村連合に加盟する熊本県南小国町と高森町に対し配送し、地震発生後より集まった義援金は6月10日に日本赤十字社福島県支部を訪問し、町長より日本赤十字社福島県支部に寄託されました。

なお、義援金並びに救援物資の内訳は以下の通りです。



救援物資

水 (500ml × 24 本)	60 箱
アルファ米 (5kgパック)	40 箱
毛布	40 枚
※南小国町・高森町へ配送	

義援金

三島町	200,000 円
日本赤十字社福島県支部三島町区分	425,000 円
(※) 内訳	
各世帯	364,000 円
小学校	20,000 円
民生児童委員協議会	20,000 円
募金箱	21,000 円
計	625,000 円

町長日記 ～過去から未来を～

No. 12

この職に就かせていただき、頭から離れない言葉があります。新聞をはじめ様々な行政等の雑誌や我が町の振興計画の中にもある、地域の「活性化」や「豊か」という言葉です。私も多くの来客者や県や国などの皆さんとの会話の中で、特にこの二つの言葉を多用していることを実感しています。

しかしその後、この言葉の意味をよく考えると町民の皆さんの「内容と質」と行政の考える「内容と質」に大きなギャップがあるのではないかと思います。行政を進める上で、町民の皆さんの意見を尊重するための非常に重要なポイントなので、その視点からの議論をし、相互の共通認識の下、三島町の現在と将来を考えていかなければならないと思っています。

私は、過去を遡る事で、未来を推測する方法に繋がっていくと確信しています。過去の事実や変遷を踏まえながら、未来を推測する力を養っていきたくと考えています。

そのためには、三島町史の早い完成を期待しているところです。過去の三島人は、何を思い、何を大事にしてこの地域や集落を創ってきたのか。次の世代に何を伝えていく責任があるのか、これを考える「バイブル」としての「三島町史」の編さん事業には意義があると認識しています。桐に桐の文化を継承する未来は「過去」にヒントがあります。

三島町長 矢澤 源成